

⑨ルッコラを育てよう

種まき前に水しっかり

ルッコラはアブラナ科の野菜で、ゴマの香りとピリッとした辛味があり、近年スーパーでもよく見かけるようになりました。生育も比較的早く30～40日程度で収穫でき、家庭菜園向けの野菜です。プランターでも育てやすいです。

①プランター

一般的なサイズ（約60センチ×20センチ×18センチ程度）のプランターでよいです。

②培養土、肥料

排水がいい、有機物を多く含む土が良く、自分で配合する場合の例として、赤玉土7割、腐葉土2割、パーミキュライト1割を混合して使います。また、市販の野菜用培養土を利用するのが手軽です。肥料は培養土10％に対し、堆肥200グラム、化成肥料10グラム、苦土石灰10グラムを土とよく混合して使います。

③種まき

ルッコラの種は小さいですので、種まき前にしっかりと水をやっておきます。種まきは、培養土の表面を平らにならし、種子のまき溝を、板切れなどで、5センチ程度の深さで作ります。一般的なプランターでは、条間を10～12センチ程度空け、植え溝を2列作ることができます。まき溝に1センチ間隔でまき、覆土は厚くなりすぎないようにそっとかけ、軽く土を押さえてください。まいた種が流れ出さないように水やりをしましょう。約5～7日で発芽します。

④間引き

発芽後、双葉が開いた頃、形の悪いものや徒長したものなどを間引いて3～4センチ間隔にします。本葉が4～5枚前後になったら2回目の間引きをします。

⑤追肥、土寄せ

生育期間が短いので元肥主体で育てますが、生育が遅い場合には、液肥などで追肥します。間引き後に苗が倒れる場合は苗が倒れない程度に株元に軽く土寄せします。

⑥病害虫防除

アオムシなどの害を受けやすいので、発生初期に捕殺しましょう。播種後すぐに1センチ目以下の目合いの防虫ネットなどで、プランター全体を覆うようにするとよいでしょう。

⑦収穫

草丈が15センチ程度になったら収穫の時期です。収穫は株ごと切り取るか、外葉から摘み取って収穫することができます。サラダや付け合わせ、サンドイッチにはさんだりして食べてみてください。



(鹿児島市都市農業センター)

平成29年12月14日(木) / 南日本新聞